

郡上市でも高齢化が進み、地域の中で高齢の人が増えていると感じられている人も多いのではないだろうか。高齢の人に対しては、民生委員や福祉委員などにより、地域の中で見守り活動が行われています。

高齢福祉課と地域包括支援センターでは、市民協働活動として「絵手紙」を利用した高齢者の見守り活動を進めていますので紹介します。

「絵手紙」とは…
 はがきに絵を描いて、一言を添えてお送りするものです。絵の題材は、その季節に合ったものを選ばれることが多く、今の時期は野菜や花などを描かれる人が多いです。

「絵手紙」による見守り活動



郡上市地域包括支援センター

▼描かれた絵手紙



▲絵手紙ボランティアの活動

◎郡上市での取り組み…
 平成25年度に絵手紙教室を開催し、55人のみなさんが受講されました。その中から、引き続き活動をされたいという人が、ボランティアグループとして活動を続けています。

現在は、八幡と白鳥にグループがあり、月1回集まって絵手紙を描いています。

◎見守り活動での活用…
 現在、市内の一部の地域で、民生委員さんが絵手紙を持って高齢者を訪問されています。

絵手紙には返信用はがきを同封し、受け取った人は今のご様子を一言書いて市役所まで送ってください。

今年度も絵手紙教室を開催し、ボランティアとして絵手紙を描いてくださる人が増えていくよう、計画しています。興味のある人は参加ください。

また、描いていただいた絵手紙を配る活動についても、どのような人にお願ひできるかの検討をしています。現在は民生委員さんが中心ですが、定期的な見守り活動をされている地域がありましたら、取り入れていただければと思います。

◎地域での見守り活動…
 高齢の人が、支援の必要な状態になったときには、できるだけ早く気付いてあげることが必要です。そのためには、地域の中での見守り活動が重要です。

絵手紙による見守り活動に興味のある人は、市役所高齢福祉課(☎67・1807)または地域包括支援センター(☎67・0008)までお問い合わせください。

平成26年度公民館専任主事体制について

平成26年度は白鳥地域公民館において1人増員しました。また、八幡地域の八幡と那比公民館、明宝地域公民館において交代がありました。今年度も公民館活動にご参加、ご協力をお願いします。

■平成26年度郡上市公民館専任主事名簿

地域名(勤務施設名)	専任主事氏名	施設電話番号
八幡(市総合文化センター)	服部 敦子(継続)	67-1128
八幡(八幡公民館)	畑佐 美里(新規)	67-2730
八幡(川合公民館)	畑佐百合子(継続)	65-5170
八幡(八幡第二公民館)		67-2181
八幡(相生公民館)	福手 淳子(継続)	63-2911
八幡(那比公民館)	山内 真美(新規)	63-2838
八幡(口明方公民館)	筒井 保幸(継続)	62-3539
八幡(小野公民館)		67-2094
八幡(西和良公民館)	吉田 敦子(継続)	68-2331
八幡(小那比公民館)	坂本富久枝(継続)	69-2255
大和(郡上市役所大和庁舎)	日置 郁子(継続)	88-2211
	古橋 喜徳(継続)	
白鳥(白鳥ふれあい創造館)	日置さつき(継続)	82-6000
	山本 薫(継続) 渡辺江里子(新規)	
高鷲(高鷲町民センター)	高城 政弘(継続)	72-6321
美並(日本まん真ん中センター)	新井紗己子(継続)	79-3700
	今田かおる(継続)	
明宝(明宝コミュニティセンター)	萱場振一郎(新規)	87-2016
和良(和良町民センター)	餌取 衛(継続)	77-2724

青少年地域で守ろう育てよう

次代を担う子どもたちが健やかに育ってほしい、それは親のみならず社会全体の願いです。しかし、家庭や学校、地域社会など、子どもを取り巻く様々な環境の中で、何かがきっかけ

になって非行に走ったり、犯罪の被害に遭ったりする子どもも少なくありません。

特にインターネットには、青少年の健全な育成を阻害する恐れのある違法・有害な情報が氾濫し、被害に遭う青少年が後を絶ちません。

7月は「青少年の非行・被害

防止全国強調月間」です。夏休みを前に、子どもを非行や犯罪被害から守るために、大人は何をすべきか考えてみましょう。

◎教育委員会社会教育課
 67・1128



図書館行事一覧

行事名	日程	時間	館名
「第19回児童生徒地図作品」展	~24日(木)		本館
おとなの学校 「白山の楽しみ-自然編」	13日(日)	10:00~	〃
おとなの学校 「郡上の野鳥-春夏編」	27日(日)	10:00~	〃
おはなしひろば	毎週(日)	14:00~	〃
おとなの学校 「タヌキ・アナグマ・ハクビシン」	6日(日) 5日(土)	10:00~	本館 はちまん
「郡上おどり歴代ポスター」展	1日(火)~		はちまん
おはなし会	5・12日(土)	14:00~	〃
おはなし会	毎週(土)	10:30~	やまと
おはなし会	12日(土)	10:30~	たかす
おはなし会&工作	26日(土)	10:30~	みなみ
おはなし会	5日(土)	10:00~	めいほう
おはなし会	19日(土)	14:00~	わら

※夏休み期間の行事については、チラシ「なつやすみとしゃんこどもきょうしつ」をご覧ください。各館・分室に置いてあります。

ようが、アテネ・フランセに通いギリシャ語まで習得し、森鷗外を読み日本文学を学びました。この努力により翻訳の仕事に就き、文学の出版を果すこととなります。茂とは疎遠でしたが、政界を退き、親子関係が修復の兆しが見え始めた頃、茂は他界しました。

一方、暁子さんは幼い頃からフランス語を学び、フランスに留学した後、翻訳家になりました。健一は子どもたちが幼い頃は必要最低限にしか関わらなかったといいますが、暁子さんはお父さんが大好きでした。エッセイの中で「父の日常は正確に時間が守られ、単純で整然とした生活をしていました」と記しています。食と酒をこよなく愛した父の著書からも、暁子さんは父の強靱な文章、ふりを感じています。

暁子さんが著名な家族を持ちながら親の名前に押し潰されることがなく活躍しているのは、親子関係がうまく保たれ、よい影響を受けていたからなのかもしれません。



しかし文士を志した健一は、わずか4カ月で大学を退学し日本に戻ります。父・茂はずいぶん驚き当惑したようですが、干渉はしなかったといえます。帰国して、英語が母語であった健一にとって日本文学を書くということは大変な苦労だったでしょう。

かの有名な吉田茂を父に、明治維新の元勳大久保利通の孫娘を母に、長男として吉田健一は生まれました。産後まもなく母は父の任地ローマに戻ったため、母方の祖父母に育てられることになり、18歳でケンブリッジ大学に入学するまで父と一緒に暮らしたのは9年弱で、父の任地に従い中国、フランス、イギリスで過ごしました。

「この親にしてこの娘あり」
 著名な親を持つ子どもは多くいますが、三代続いて、しかもそれぞれが、それぞれの分野で活躍しているというところは少ないのではないのでしょうか。今回はそんな父娘を紹介します。

7月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

※わら分室は、日月祝日が休館になります。
 ※めいほう分室は、第1土曜日以外は土日祝日が休館になります。

図書館

だより

123回